

殺虫剤

## 石原ネマトリンエース粒剤



殺虫剤分類

1B

農林水産省登録	第20265号
有効成分	ホスチアゼート（化管法1種）・・・1.5%
性状	類白色細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
有効年限	3年
包装	2kg × 6袋 5kg × 4袋 10kg × 1袋 20kg × 1袋

## 特長

- ✓ 優れた殺線虫効果  
線虫と薬剤が接触することで線虫の活動を阻害し、殺線虫効果を発揮します。
- ✓ 簡便な作業性  
揮発性がなくガス抜き作業が不要のため、処理直後から播種や定植が可能です。
- ✓ 土壌条件に左右されにくい  
土性の違いや処理後の土壌水分の変動による影響が少なく、安定した効果を示します。
- ✓ 地上部害虫にも有効  
浸透移行性に優れ、地上部の吸汁性害虫の同時防除が可能です。（なす、ばれいしょ、いちご）

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	10アール当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホスチアゼートを含む農薬の総使用回数			
いちじく		20kg	収穫60日前まで	1回	樹冠下処理	1回			
かんしょ	ネコブセンチュウ	15～20kg	植付前		全面土壌混和	作条土壌混和	2回以内 (苗床は1回以内、 本圃は1回以内)		
		10～30kg	苗床植付前 植付前						
	ネグサレセンチュウ	20～30kg	植付前						
ばれいしょ	アブラムシ類 ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20～25kg	植付前						
	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	20kg							
やまのいも やまのいも(むかご) 葉しょうが	ネコブセンチュウ								
さといも	ネグサレセンチュウ	25kg							
こんにゃく	ネコブセンチュウ								
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20kg	定植7日前まで			全面土壌混和	1回		
オクラ みつば	ネコブセンチュウ		は種前						
とうがん しろうり			定植前 但し、収穫45日前まで						
ズッキーニ(花)			定植前 但し、収穫21日前まで						
ズッキーニ かぼちゃ パセリ さやえんどう			定植前						
きゅうり にがうり		は種前又は定植前							
すいか メロン トマト ミニトマト ピーマン		15～20kg				2回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、土壌灌注は1回以内)			
なす	ネコブセンチュウ	20kg	定植前	1回	全面土壌混和	1回			
	ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ オンシツコナジラミ								
いちご	ハダニ類	25kg							
	ネグサレセンチュウ	20～25kg							
だいこん	ネコブセンチュウ	15～25kg	は種前						
	ネコブセンチュウ	15～20kg							
にんじん	ネグサレセンチュウ	20kg	は種前						
	ネコブセンチュウ	15～20kg							
ごぼう	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20kg						は種溝土壌混和	
らっきょう	ネダニ ネグサレセンチュウ	15kg						植溝土壌混和	

にんにく	イモグサレセンチュウ	25kg	植付前	全面土壌混和	3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、球根浸漬は1回以内、土壌灌注は1回以内)
しょうが	ネコブセンチュウ	20kg	定植前		2回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、土壌灌注は1回以内)
みょうが(花穂) みょうが(茎葉)					2回以内 (種根茎浸漬は1回以内、定植前の土壌混和は1回以内)
あずき	ダイズシストセンチュウ		は種前		1回
ガーベラ	ネコブセンチュウ		植付前		
カーネーション	クローバーシストセンチュウ				
すずらん	ネグサレセンチュウ	25kg	定植前		2回以内
きく		20~25kg			
ぼたん	ネコブセンチュウ	20kg	定植前		3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、生育期の根鉢浸漬は1回以内、土壌灌注は1回以内)
つつじ類	イシュクセンチュウ				1回

※本内容は2022年11月24日付の登録内容に基づいています。

## 効果・薬害等の注意事項

---

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
  - ごぼう、いちじく、らっきょう以外の作物に使用する場合は、所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和してください。
  - いちじくに使用する場合、樹冠下全面に処理し、栽培様式からみて可能であれば土壌混和してください。
  - 散布が不均一だったり、混和が不十分だと効果不足や薬害を生じることがあるので注意してください。
  - 作物によっては、定植時展開葉に軽微な薬害を生じることがありますが、その後の展開葉および生育には特に影響はありません。
  - 間引き菜、つまみ菜には使用しないでください。
  - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
  - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- ※ いちごの高設栽培等では、全面土壌混和が出来ないので使用しないでください。

## 安全使用上の注意事項

---



- 本剤の解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。

### 魚毒性等

この登録に係る使用方法では問題ありません。

### 保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼・乾燥した所に保管してください。